

前回定例会以降の動き

平成30年11月21日
新潟県防災局原子力安全対策課

1 安全協定に基づく状況確認

- 10月10日、柏崎市、刈羽村とともに、発電所の月例の状況確認を実施しました。

[主な確認内容]

- ・ 防火区画貫通部の防火処理未実施箇所について、7号機タービン建屋の是正措置の状況を確認しました。
- ・ 8月30日に発生した1号機非常用ディーゼル発電機のトラブルについて、原因調査の状況説明を受けました。

- 11月1日、柏崎市、刈羽村とともに、発電所の状況確認を実施しました。

[主な確認内容]

- ・ 東京電力より火災発生の通報連絡を受け、現場の状況確認を行いました。
- ・ 東京電力に対し、速やかな原因の究明及び再発防止の徹底を求めるとともに、安全確保に万全を期すよう申し入れを行いました。

- 11月12日、柏崎市、刈羽村とともに、発電所の月例の状況確認を実施しました。

[主な確認内容]

- ・ 11月1日の火災発生時の対応について、当時の状況説明を受け、火災発生箇所の現地確認をしました。
- ・ 県課長から、東京電力に対して、原因究明と再発防止について、あらためて申し入れを行いました。
- ・ KYB社の免震装置の検査データ改ざん問題を受け、同社の装置が使われている6号機プロセス計算機室の免震床を確認し、今回不正のあった型式とは違うものが設置されていることを確認しました。

2 新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会（以下、技術委員会）

10月31日、平成30年第2回技術委員会を開催し、柏崎刈羽原子力発電所6、7号機の適合性審査に関する委員の質問に対し、原子力規制庁から回答をいただきました。

また、前回の委員会で委員から質問のあった事故時に使用した運転手順書について、東京電力から報告を受けたほか、寺尾トレンチの現地視察の実施について、県から報告しました。

3 新潟県原子力発電所による健康と生活への影響に関する検証委員会

11月8日、第3回健康分科会を開催し、検証に対する知事の考えを再確認するとともに、文献調査の対象や進め方について、議論していただきました。

4 その他

10月24日：報道発表「新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会を開催します。」

11月1日：報道発表「柏崎刈羽原子力発電所での火災発生について（第1報）」

11月1日：報道発表「柏崎刈羽原子力発電所での火災発生について（第2報）」

平成30年10月24日
防災局原子力安全対策課

新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会を開催します。

新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会（平成30年度第2回）を下記のとおり開催します。

記

1 開催日時

平成30年10月31日（水） 13時30分から16時00分まで

2 場 所

新潟市中央区新光町4番地1 新潟県自治会館ゆきつばき

3 議 題

- (1) 柏崎刈羽原子力発電所6、7号機の適合性審査について
- (2) その他

4 会議の公開

会議は公開で行い、一般の傍聴者の定員は50名（先着順）です。
また、会場には、別途、記者席を設けます。

5 取材の受付

会議の取材を希望する方は、所属する報道機関の発行する腕章がある場合はそれを持参し、会議開始前に会場の受付で所属名、職名及び氏名を記入してから入場してください。所属する報道機関の発行する腕章がない場合は、受付で報道関係者腕章の交付が受けられます。

なお、取材の受け付けは、当日の13時00分からです。また、カメラ等での撮影は、係員の指示に従ってください。

本件についてのお問い合わせ先
原子力安全対策課 課長 原
(直通) 025-282-1690 (内線) 6450

柏崎刈羽原子力発電所での火災発生について（第1報）

本日午前6時28分頃に、東京電力から柏崎刈羽原子力発電所構内で火災が発生したとの報告を受けました。

消防に通報し、現在、消防が現場確認中とのことです。

なお、柏崎刈羽原子力発電所は、現在、全号機とも定期点検により停止中であり、火災発生場所は原子炉等に直接関係するところではなく、この火災による放射能漏れなどはないとのことです。

また、県が実施している放射線モニタリングでは、異常な値は検出されていません。発電所周辺の県放射線モニタリングの状況はこちらからご覧いただけます。

<http://housyasen.pref.niigata.lg.jp/>

本件についてのお問い合わせ先

原子力安全対策課 原

(直通) 025-282-1690 (内線) 6450

柏崎刈羽原子力発電所での火災の発生について（第2報）

本日午前6時28分頃に、東京電力から柏崎刈羽原子力発電所構内（荒浜側のケーブル洞道立坑入口付近）で火災が発生したとの報告を受けました。

その後、消防が現場確認を行い、鎮火を確認するとともに、火災と判断したとのことです。

現場においてケーブルの溶融が確認されておりますが、火災の原因等については、東京電力で調査中です。

なお、柏崎刈羽原子力発電所は、現在、全号機とも定期点検により停止中であり、火災発生場所は原子炉等に直接関係するところではなく、この火災による放射能漏れなどはないとのことです。

本件を受け、本日、県は、柏崎市、刈羽村とともに、現場の状況確認を行いました。

また、これまでも再三、火災防止の徹底を東京電力に申し入れてきておりますが、県として、速やかな原因の究明及び再発防止の徹底を求めるとともに、安全確保に万全を期すようあらためて申し入れました。

なお、県が実施している放射線モニタリングでは、異常な値は検出されていません。発電所周辺の県放射線モニタリングの状況はこちらからご覧いただけます。

<http://housyasen.pref.niigata.lg.jp/>

本件についてのお問い合わせ先

原子力安全広報監 伊藤

（直通）025-282-1694 （内線）6451

委員ご質問への回答

平成30年11月21日

新潟県県民生活・環境部震災復興支援課

〈石田委員〉

Q 「前回定例会以降の動き」の説明の中で、3.福島中通りで避難せずに生活してきた方々への生活への影響について調査報告していただいた…、と何となく終わってしまいましたが、それはどのような調査内容と結果だったのか、もう少し詳しく話を聞かせてほしい。

A 9月11日に開催しました、健康・生活委員会の第4回生活分科会においては、中京大学現代社会学部の成 元哲（そん うおんちよる）教授から、「福島原発事故後の親子の生活と健康に関する調査」と題して、福島県中通り地域の避難をしなかった方々について報告をいただいております。

詳細については、報告に用いた資料及び議事録を新潟県のホームページ（※）で公開しております。

※ <http://www.pref.niigata.lg.jp/shinsaifukkoushien/1356902494563.html>